落中学校運営協議会だより

令和６年１月 24 日

第５号

新宿区立落合中学校
地域協働学校運営協議会
代表　浅見　幹夫

令和５年度第５回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要を報告します。

◆　日　時　　令和６年１月 24 日（水）午前 10 時から午前 11 時まで
◆　会　場　　新宿区立落合中学校　多目的室
◆　出席者　　馬場　宗生、浅見　幹夫、大嶋　英二、二上　映子、石井　澄子、戸所　美香子
山口　春代（兼ねる事務担当）、伊藤　裕一、藤本　卓、武者　裕子、奥野　暢基、
吉川　宏樹（事務局）森　修二（新宿区教育委員会教育支援課）（敬称略）
青木　俊明

◇　議事概要

はじめに

配布資料の確認

1　代表挨拶

おはようございます。

１日能登の地震では現在、中学生が大変な思いを強いられています。町会ではもちつき会、街頭で募金活動をしました。

おとめ山公園では桜の古木も含め剪定作業をしています。

2　校長挨拶

元日からの大地震で現実を思い知らされ、いつ起こるかわからないことに不安を感じました。始業式は黙祷をしてスタートしました。

２年のスキー教室（1/17～1/19）前からコロナが出始めて心配しましたが、最終日に発熱が１名ありましたが、充実の三日間となりました。３年は推薦の合格者が出始めましたが、これから入試に向かう生徒もおり、最後までしっかり支えていきます。

今年もよろしくお願いします。

3　令和５年度学校評価について【要点】

〇生徒学校評価から

・家庭での学習時間が減ってきている。
・今後は塾の時間と家庭学習の時間のバランスを分析していきたい。
・学校評価の結果をきちんと発信しながら生徒たちを育てていきたい。
・平日の学校公開については、参観される保護者の数が減少してきている。

〇教員学校評価から

・問 15 は区共通項目、主体的にというところで肯定的に評価しにくいのではないか。
・SDGｓを考えるとペーパーレスを進めていく必要がある。

4　各委員・区教委担当より

（進路指導主任より）

・都立出願はインターネットになりましたが、出願に必要な書類は印刷して配布している。
・hyper-QU の質問項目で進路についての自己評価が毎年低くなっている。
・生徒の聞く力を伸ばすよう工夫して指導していく。
・生徒の半数以上が塾に通っているが、家庭で自分で学習する時間が短くなっている。

（生活指導主任より）

・主体的な活動ができるよう生徒に投げかけている。
・生徒会でアンケートを行ったところ「ことば」というワードがでてきた。

＊学校評価から子どもたちが楽しく通学している様子がうかがえます。
＊教職員評価で問 17，18 の授業についての評価は遠慮しているのかなと思います。
＊授業を常に改善していく姿勢、学校の意識も高くあるのかなと思います。
＊「ことば」というワードがでてきたそうですが、言語環境を整えるとても大事なことです。
＊現在の様々な社会状況から子どもたちも影響を受けていると思う。
＊熱心な先生の姿を見て、子どもも学校が楽しいと考えるのではないか。
＊「しんじゅくの教育」の中で平和のポスターに本校から最優秀作品に 2 名掲載されています。
＊スキー教室前は部屋割りなどで悩んでいた様ですが、帰ってから宿舎での話を楽しんで話していました。
＊保護者評価で問 9 が少し低い様に感じました。
＊支援課に「小学生に夢を持たせたい」ということで授業をしたいのだがと問い合わせがあり外部から招いて単発授業を実施した例があります。教育支援課にご相談下さい。

5　諸連絡

・学校公開　　1/22～1/26
・落中作品展　2/3　9：00～12：00

・来年度協働学校運営委員を引き続きお願いしたいと思いますので次回、承諾書の記入をお願い致します。また委員の推薦者がおられましたらお知らせください。

次回　2/27（火曜）　11：30～　に変更致します。
委員会終了後、給食運営協議会で給食の試食会をします。